

旭川市立小・中学校適正配置計画 説明会での御意見

※同内容の御意見は一つにまとめて掲載しています。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
1	大町小学校	学校は避難所でもあり、学校をなくすことは教育だけの問題ではないので、地域との協議が必要だと思う。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。 避難所についての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
2	大町小学校	町内会に加入していない住民や、説明会に参加していない保護者、住民への周知を工夫してほしい。統廃合についての途中経過である保護者へのアンケート結果は、保護者だけでなく地域にも結果を伝えてほしい。	保護者へのアンケートや協議の状況など、広く閲覧できるよう、ホームページでの情報提供について工夫してまいります。
3	大町小学校	大町小学校は街中にあり交通の便も良いので、特認校や不登校の子どもの受け皿としてはどうか。	特認校についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
4	大町小学校	統合先については、中学校の通学区域についても考えてほしい。現在大町小学校卒業後は北星中学校に進学するが、大有小学校は北門中学校へ進学している。	統合先や統合する時期については、保護者や地域の方々との協議の中で決めてまいります。
5	大町小学校	統合先校や、統廃合する時期を明らかにしてほしい。	統合先や統合する時期については、保護者や地域の方々との協議の中で決めてまいります。
6	大町小学校	ほかの学校の通学区域を大町小学校の通学区域に変更し、児童数を増やしてほしい。	通学区域については、歴史的に形成された生活圏も踏まえ、児童生徒の安全確保や距離に配慮して定めており、地域コミュニティとの整合性を考慮し、小学校卒業後、全児童が同じ中学校に進学できるよう取組を進めております。校区を分けることは、これまで進めている小中連携や、他校の小規模化を招来することにつながることへの影響を考える必要があり、全市的な人口減少の中、特定の校区に児童生徒を誘導することは難しいと考えておりますが、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し協議を進めてまいります。
7	大町小学校	適正配置計画の公表により、大町小学校の児童数が減少していると思う。統廃合対象校であるからといって必ずしも統廃合となるわけではないことを、計画に記載してほしい。	適正配置の推進に当たっては、計画期間に保護者や地域と協議を進めることとしており、統合先や統合する時期については、保護者や地域との協議の中で決めてまいります。
8	大町小学校	地域への説明会を開催してほしい。	地域への説明は、各学校の状況に応じ、時期を検討してまいります。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
9	大町小学校	自分の子どもは、大きな学校で過ごせず、校区外から大町小学校に転校してきた。転校前は子どもも親も学校とコミュニケーションがとれなかったが、大町小学校ではコミュニケーションができ、良い学校生活を送ることができたので、そのような学校を残してほしい。学区も大切だが、小規模校が必要で校区を変更して通学している子どももあり、人数で計れない役割があると思う。	小規模校についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
10	大町小学校	保護者が入れ替わってしまうので、短い期間で協議を重ねてほしい。	保護者との協議に当たっては、これまでの内容や経過を共有しながら、協議を進めてまいります。
11	正和小学校	新富小学校に統合する場合は、道路が狭く線路を渡る必要があるため、通学が心配である。また、永山南小学校は通学距離が遠く国道を渡る必要があるため、低学年の子どもの登下校が心配である。	通学路については保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討してまいります。
12	正和小学校	入学前は統廃合して良いと考えていたが、子どもが通学している間は統廃合してほしくないと考えている。	統合先や統合する時期については、保護者や地域の方々との協議の中で決めてまいります。
13	正和小学校	統廃合は中学校の制服購入にも影響するため、10月までに決定してほしい。	統合先や統合する時期については、保護者や地域の方々との協議の中で決めてまいります。
14	永山東小学校	児童生徒数が多いことのデメリットが示されていないが、少ないことのデメリットだけでなく多いことのデメリットも示すべきでは。	現在、本市に大規模校はなく、今後も見込みがないことから、記載しておりません。
15	永山東小学校	学校に余裕がないと、インクルーシブ教育に対応できないのではないか。小規模校を統廃合するのは時代に逆行しているのではないか。	児童生徒数が少なくなると教職員の配置数が少なくなり、教員や養護教諭や事務職員が配置されなくなる場合があるほか、集団教育活動の制約なども懸念されることから、望ましい学校規模を考えていく必要があると考えております。
16	永山東小学校	特別支援学級ができると先生の配置数も変わってくるのは理解するが、配慮が必要な子どもが増えるということであり、学校規模は特別支援学級も含めた全体を見て判断したほうが良いのでは。	特別支援学級については、通常学級とは別に、児童生徒数に応じた教員が配置されておりますが、教員数の把握が難しいことから、本計画では通常の学級数で学校規模を区分しているところです。
17	永山東小学校	地域で子どもを育てていきたいと考えており、地域の意見も丁寧に聞いていきたい。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。
18	永山東小学校	永山東小学校は通学区域が広いため、統廃合となる場合には、通学方法についても考えてほしい。	通学路については保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討してまいります。
19	永山東小学校	人数が少ないとソフトボールや野球もできないなど、子どものためには、人数が多いほうが良いと思うが、学校がなくなると困る。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
20	永山東小学校	永山東小学校の通学区域を広くすることは考えないのか。永山東小学校と永山小学校は児童数のバランスが悪いと思う。	通学区域については、歴史的に形成された生活圏も踏まえ、児童生徒の安全確保や距離に配慮して定めており、地域コミュニティとの整合性を考慮し、小学校卒業後、全児童が同じ中学校に進学できるよう取組を進めております。校区を分けることは、これまで進めている小中連携や、他校の小規模化を招来することにつながることへの影響を考える必要があり、全市的な人口減少の中、特定の校区に児童生徒を誘導することは難しいと考えておりますが、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し協議を進めてまいります。
21	近文第2小学校	近文第1小学校は校舎が古いので、統廃合に当たっては改築も併せて検討してほしい。将来的に中学校も生徒数が減少するのだから、義務教育学校についても検討してはどうか。	改築についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
22	近文第2小学校	全員が納得した上で統廃合することは難しいと思う。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。
23	近文第2小学校	近文第2小学校や東鷹栖中学校の通学区域から、隣の学校へ変更して通学している子どもがいるが、児童生徒が減少するので、他校への変更は認めないでほしい。	就学学校の変更については、様々な事情がある場合に、申請により、就学学校変更に関する取扱要領に基づき変更を認めておりますので、御理解をお願いいたします。
24	近文第2小学校	統廃合を避けるために、近文第2小学校の通学区域を広げることができないのか。	通学区域については、歴史的に形成された生活圏も踏まえ、児童生徒の安全確保や距離に配慮して定めており、地域コミュニティとの整合性を考慮し、小学校卒業後、全児童が同じ中学校に進学できるよう取組を進めております。校区を分けることは、これまで進めている小中連携や、他校の小規模化を招来することにつながることへの影響を考える必要があり、全市的な人口減少の中、特定の校区に児童生徒を誘導することは難しいと考えておりますが、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し協議を進めてまいります。
25	近文第2小学校	統廃合後は、スクールバスでの通学となるのか。通学に当たって保護者は送迎できない。	学校までの通学距離や交通手段の状況等を踏まえて、保護者と協議してまいります。
26	近文第2小学校	統廃合対象校の基準を見直すべきではないか。	児童生徒数が減少すると教職員の配置数が少なくなるほか、集団教育活動の制約などが懸念されることから、望ましい学校規模の考え方を整理し、統廃合対象校としております。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
27	日章小学校	統廃合対象校の基準を児童生徒数や学級数で決めてるのではなく、学校の歴史や地域特性も基準として良いのでは。日章小学校はほかの学校と異なる取組をしてきた学校であり、日章小学校が先駆的な役割を果たしてきた。小規模だからこそできる教育であり、それが適正配置なのではないか。	小規模校についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
28	日章小学校	児童数が減少することは分かるが、行政が中心市街地の活性化に取り組んでいる中、地域の核である小学校がなくなると、地域が衰退してしまう。行政としてそのことを考えてほしい。	中心市街地活性化について御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
29	日章小学校	5年前も統廃合が決定であるかのような報道がなされ、不安を感じていたが、日章小学校の統廃合が決定事項ではないことを改めて確認したい。	適正配置の推進に当たっては、計画期間に保護者や地域と協議を進めることとしており、統合先や統合する時期については、保護者や地域との協議の中で決めてまいります。
30	日章小学校	日章小学校は通学区域が狭く、商業施設の区域などもあり居住できる区域が限られているので、まず通学区域を見直すべきである。 また、旭川初の公立学校としての伝統があるため、教育の中心校として残してほしい。 旭川市中心市街地活性化基本計画では、まちなかに人を住まわせたいとしており、小学校がないと子育て世帯は住まなくなるので、まちなかの学校の必要性も考えてほしい。	通学区域については、歴史的に形成された生活圏も踏まえ、児童生徒の安全確保や距離に配慮して定めており、地域コミュニティとの整合性を考慮し、小学校卒業後、全児童が同じ中学校に進学できるよう取組を進めております。校区を分けることは、これまで進めている小中連携や、他校の小規模化を招来することにつながることへの影響を考える必要があり、全市的な人口減少の中、特定の校区に児童生徒を誘導することは難しいと考えておりますが、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し協議を進めてまいります。 中心市街地の活性化についての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
31	日章小学校	日章小学校には児童クラブがなく、児童クラブのある学校へ転入してしまうため、教育環境を整えてほしい。 他の校区の子どもも利用できる児童クラブの設置も考えては。まちなかに児童クラブがあれば、仕事帰りに迎えに来ることができるのでは。	児童クラブについての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
32	日章小学校	子どもが通学しているので、日章小学校は残してほしい。自分の子どもは人が多いと緊張してしまうが、先生のフォローが手厚く、入学後は安定している。人数の少ない学校も必要ではないか。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。 小人数学校の必要性については、今後の施策の参考とさせていただきます。
33	日章小学校	自然豊かな環境でない場合も特認校にできるなら、日章小学校を特認校とし、校区外から子どもを受け入れてはどうか。また、学校に地域コミュニティを作してほしい。	特認校及び地域コミュニティについての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
34	日章小学校	不安を感じさせる文章であり、保護者や児童に対し不安を煽らないような記載をお願いしたい。また、令和11年度推計により増加が見込めないとするなど、計画には根拠が分かるように記載してほしい。減少する状況が分かれば、人口を増やすことも考えていける。	p27「ブロック別計画」の、各中学校の通学区域「適正配置の進め方」の表記、「今後も児童数の増加が見込めない状況です。」を「令和6年度の将来推計では児童数の増加が見込めない状況です。」に修正します。
35	日章小学校	文章を読むと、児童数が減少し、将来学校がどれだけ減るのか不安となってしまう。ほかの基準を考えていく必要があると思う。	御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
36	日章小学校	日章小学校は文化施設や行政施設、商業施設があるなど地理的に恵まれており、教育に良い環境。小規模で教育資源のある学校を生かして、より良い教育を考えていってほしい。	小規模校についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
37	新町小学校	「望ましい規模」は綺麗な言葉のように聞こえるが、何が子どもたちにとって望ましいのか分からない。	児童生徒数が少なくなると教職員の配置数が少なくなり、教員や養護教諭や事務職員が配置されなくなる場合があるほか、集団教育活動の制約などが懸念されることから、望ましい学校規模を考えていく必要があると考えております。
38	新町小学校	統廃合の効果について数値目標はあるのか。聖園中学校が統廃合となったが、それにより教員の時間外が減ったなど、成果が出ているのか、そういったことも確認が必要ではないか。	児童生徒数が少なくなると教職員の配置数が少なくなり、教員や養護教諭や事務職員が配置されなくなる場合があるほか、集団教育活動の制約などが懸念されることから、望ましい学校規模を考えていく必要があると考えており、統廃合の効果について目標を定めるものと考えておりません。
39	新町小学校	新町小学校と統合する学校について、具体例を出すべきではないのでは。シミュレーションを提示して、どうしていくか協議すべき。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。
40	新町小学校	日章小学校、新町小学校の校区を変更することはできないか。知新小学校の一部を日章小学校の校区に、青雲小学校の一部、亀吉を新町小学校の校区に変更すると良いのではないか。	通学区域については、歴史的に形成された生活圏も踏まえ、児童生徒の安全確保や距離に配慮して定めており、地域コミュニティとの整合性を考慮し、小学校卒業後、全児童が同じ中学校に進学できるよう取組を進めております。校区を分けることは、これまで進めている小中連携や、他校の小規模化を招来することにつながることへの影響を考える必要があり、全市的な人口減少の中、特定の校区に児童生徒を誘導することは難しいと考えておりますが、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し協議を進めてまいります。
41	新町小学校	児童生徒数をなぜ通常学級のみで捉えているのか。実際は交流学習も行っており、捉え方を変えるべきではないか。単純に線引きするのではなく、実態を見てほしい。	特別支援学級については、通常学級とは別に、児童生徒数に応じた教員が配置されておりますが、教員数の把握が難しいことから、本計画では通常の学級数で学校規模を区分しているところです。

No.	説明会実施校	御意見	旭川市教育委員会の考え方
42	新町小学校	新町小学校は地域の避難所となっており、この辺りには町内会会館もほとんどなく、新町小学校が避難所でなくなったら、遠くへ避難しなければならない。社会的な役割を考慮して統廃合を考えてほしい。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。 避難所についての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
43	新町小学校	日章小学校は耐震化工事を行っているので、新町小学校が日章小学校に統合されるのではないかと心配である。日章小学校に通学することになると通学距離が遠くなってしまい、子どもたちが可哀そうである。青雲小学校のほうが近いので、子どもたちのことを考えて進めてほしい。また、統廃合になったら、校舎を義務教育学校にすると通学問題も解消されるので、検討してほしい。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。 義務教育学校についての御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。
44	新町小学校	市教委から都市計画の担当課に、統廃合対象校の校区に住宅街をつくってもらえないか、働きかけをしてほしい。	都市計画についての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。
45	新町小学校	まちなかは都市機能が充実しており、コンパクトシティの考え方としては、住宅を再度集積する視点で、市で地域づくりを検討してほしい。また、本日の意見はホームページに掲載してもらえるのか。生の声を掲載してほしい。	まちづくりについての御意見は、関係課と共有し、今後の施策の参考とさせていただきます。 また、説明会での御意見については、ホームページで公表してまいります。
46	新町小学校	聖園中学校統廃合時は、町内会長との協議のみで統廃合が決定し、子育て世帯が後から知ったという状況だった。若い人など、関係する人たちの話を聞いて進めてほしい。	適正配置の推進に当たっては、保護者や地域の方々の御意見をお聞きしながら、地域事情を考慮し、十分に検討、協議を行ってまいります。
47	新町小学校	計画には「学校の小規模化による影響の例」で「不安と考えること」に男女の偏りが挙げられているが、むしろ現代的で問題ないことだと思う。また、教員配置が少なくなるという理由は大人の都合であり、大人の知恵で何とかしていけることだと思う。	御意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。